

研究者：瀧澤 伸枝（所属：茨城県保健福祉部保健予防課）

研究題目：茨城県歯科保健目標達成者における歯科保健行動の特性について

### 目的：

茨城県の歯科保健目標は「8020・6424（80歳で20本以上，64歳で24本以上自分の歯を持つ）」である。5年ごとに行われる県民歯科保健基礎調査によると，80歳で20本以上自分の歯を持つ者の割合は増えている（図1）。一方，64歳で24本以上自分の歯を持つ者の割合は横ばい傾向である（図2）ものの，その関連要因についての報告は少ない。

本研究では，茨城県の64歳における保健行動と現在歯数との関連について検討する。

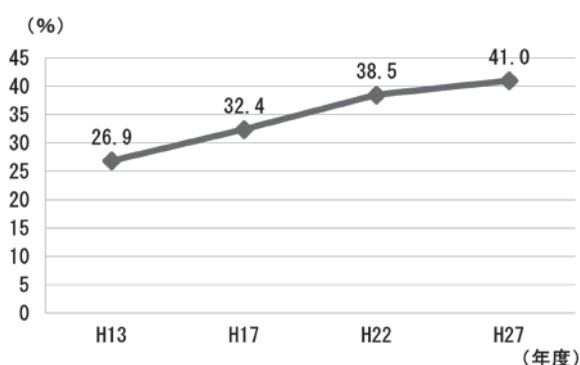


図1 80歳で20本以上自分の歯を持つ者の割合

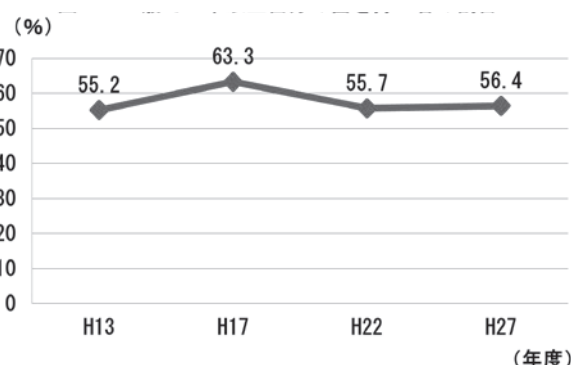


図2 64歳で24本以上自分の歯を持つ者の割合

### 対象および方法：

調査対象地区（9市町）に居住している64歳のうち無作為抽出された630人に無記名自記式質問紙調査を実施し，回答を得られた324人を本研究の対象とした（回収率51.4%）。

調査では，運動習慣，喫煙状況，噛んで食べる時の状態，むせ，歯磨き回数，歯間清掃用具の使用などを質問した。

現在歯数は質問紙に記入された本数を用いた。

現在歯数が24本以上の群と，23本以下の群に分類し，保健行動により現在歯数に差があるかどうかについてカイ二乗検定を用いて分析した。

### 結果および考察：

現在歯数が24本以上であった者は176人（56.4%）だった。

64歳で24本以上自分の歯を持つ者と各調査項目との関連を表1に示す。

非喫煙者は現在・過去喫煙者に比べ24本以上自分の歯を持つ者が有意に多かった（ $p=0.009$ ）。

よく・どちらかと言えばよく噛んでいる者はあまり・ほとんど噛まない者に比べ自分の歯を24本以上持つ者が有意に多かった（ $p < 0.001$ ）。

1日3回以上歯を磨く者は2回以下歯を磨く者に比べ自分の歯を24本以上持つ者が有意に多かった（ $p=0.046$ ）。

表1 64歳で24本以上自分の歯を持つ者と各調査項目との関連

質問項目	回答	自分の歯の本数		p 値
		24 本以上	23 本以下	
健康のために運動をしていますか	いつも・ときどきしている	134 (59.3%)	92 (40.7%)	0.096
	していない	42 (48.8%)	44 (51.2%)	
現在たばこを吸っていますか	吸っていない	126 (61.8%)	78 (38.2%)	0.009 *
	吸っている・以前吸っていた	50 (46.3%)	58 (53.7%)	
噛んで食べる時の状態はどれにあてはまりますか	よく・どちらかと言えばよく噛んでいる	175 (58.5%)	124 (41.5%)	< 0.001 *
	あまり・ほとんど噛まない	0 (0.0%)	11 (100.0%)	
お茶や汁等でむせることはありますか	めったに・まったくない	159 (58.7%)	112 (41.3%)	0.054
	頻繁に・時々ある	17 (42.5%)	23 (57.5%)	
1日に何回歯を磨きますか	1日3回以上	49 (68.1%)	23 (31.9%)	0.046 *
	1日2回以下	127 (54.7%)	105 (45.3%)	
デンタルフロスや歯間ブラシを使いますか	使っている	90 (62.1%)	55 (37.9%)	0.178
	使っていない	86 (54.4%)	72 (45.6%)	
茨城県の歯科保健目標を知っていますか	名称も意味も知っている	47 (61.0%)	30 (39.0%)	0.334
	意味は分からない	127 (54.7%)	105 (45.3%)	

茨城県の64歳において、たばこを吸わないことと1日3回以上歯を磨くことは、6424を達成する要因となりうる。

**成果発表：**(予定を含めて口頭発表，学術雑誌など)

瀧澤伸枝，西連地利己，五十嵐彩夏，入江ふじこ 茨城県の64歳における保健行動と現在歯数との関連 第73回日本公衆衛生学会総会，大阪市，2016.10